

新型コロナウイルス感染症パンデミックという大変な逆風を乗り越えて、本日、めでたく武蔵大学をご卒業の皆さん、武蔵大学大学院研究科を修了の皆さん、誠におめでとうございます。今日までお子様の成長を暖かく見守って来られた保護者の方々にも心よりお祝いを申し上げます。

皆さんがこの江古田のキャンパスで過ごした大学生活の大半は、新型コロナウイルスと戦いながらの非日常の日々の連続だったと思います。感染症パンデミックに初めて対峙し、ある時は変異するウイルスと闘う人間の無力さを、ある時は、科学・医療の進歩を実感しながら、健康でいることの大切さや有難さを改めて認識したことと思います。このような困難な状況ではありましたが、先生方のきめ細かいご指導や、同僚やクラブ活動の先輩・後輩などのこれ迄にない、心を通わせた交流を通じて、皆さんが今後の人生の糧となる意義深い大学4年間を過ごされたものと私は信じています。

慶應義塾の創始者である福沢諭吉は「世の中に最も大切なるものは人と人との交わり、付き合いなり。是、即ち一つの学問なり」と言う言葉を残しました。予定されていた大学行事の中止や部活動の制限などがあり、友人や先輩・後輩との付き合いも、入学時に思い描いていたようにいかなかったかもしれません。しかし、そんな状況だったからこそ、互いに刺激し合い、辛いときに励まし合った友人と出会うことも出来たのではないのでしょうか。

現在、我が国は少子高齢化という大変深刻な問題に直面しています。2022年度の出生数は初めて80万人を割り、77万人となり、少子化に歯止めがかかりません。

出生率は187か国中174位、合計特殊出生率は1.26であり、人口減少が続いており、このまま行くと2050年にはわが国の人口は一億人を割ると予想されています。わが国の国力の低下が大変危惧される状況です。

一方、我が国は世界でも名だたる長寿国です。平均寿命は女性で87.1歳であり、男性は81.1歳です。百歳を越す人を百寿者と呼びますが、最も新しい調査結果だと百寿者は現時点で九万二千人を超えており、男性でも一万人を超えたそうです。

ロンドンビジネススクールのグラットン教授とスコット教授が書かれた“The 100-Year Life: Living and Working in an Age of Longevity”、「人生百年：長寿時代での生き方、働き方」とでも訳すのでしょうか？ この著書によれば、西暦2000年以降に生まれた人たちの半数以上が百歳まで生きることになる長寿の時代を迎えている現在、これまでとは異なるライフプランを描き、充実した時を過ごせるように準備しておく必要があるというものです。これまで、ライフステージは大きく三段階に別れていました。大学教育を受けるまでの教育期間、職業を選択し仕事に就く期間、そして定年退職後の新たなキャリア形成を模索する期間です。しかし、それぞれの時間軸の延長に伴い、リカレント教育はどの時点でも受けられるようになるでしょう。一旦、職業に就いた後でも、再び自分の新たに見つけた課題に挑戦する為に、教育を受ける機会も増えて行くのではないのでしょうか？ 自分が最もやりたいことは何なのか？を改めて自身に問い、勉強し直す時間を持つことも可能になるでしょう。皆

さんそれぞれが、人生百年の時代をどのように生きていくか？ そのライフプランを真剣に考えてほしいと思います。

武蔵学園の「建学の三理想」である「自ら調べ、自ら考える力ある人物を育てる」の教育理念のもとに育った皆さんには、どの時代を生きようとも真摯なものに向き合い、熱中できることを探し、自らの進みたい道を求めながら、勉学をやめないでほしいと願っています。

現在、我々は地球規模の数多くの解決すべき深刻な課題に直面しています。今回の新型コロナウイルス感染症パンデミックのような地球規模の新興・再興感染症が将来再び起ることは容易に予想されます。また、世界各地で異常気象が見られており、大規模災害への対策や脱炭素社会の実現への道筋をどのようにつけるのでしょうか？ アジア、アフリカを中心に人口の増加は顕著で、世界人口は 2030 年には 85 億人、2050 年には実に 97 億人に達すると予想されていますが、増え続ける人口問題を抱える地域での食料問題なども待ったなしです。

このような地球規模の課題解決には国家の単位を越え、多くの人々が協力し合わなくてはなりません。ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ問題など痛ましいニュースに接する毎日は残念で仕方がありません。今こそ、地球規模の課題にリーダーシップを発揮出来るグローバル人材、グローバルリーダーが求められているのです。

「世界に雄飛するにたえる人物」を「建学の三理想」に掲げる武蔵で育った皆さんは卒業後もさらに研鑽を積まれ、国内外で活躍できる人物になる志を持ち続けてこれからの人生を歩んで下さい。

これからの皆さんの人生には多くの曲がり角もあるでしょう。回り道や遠回りをすることを恐れる必要もありません。チャレンジ精神を忘れず、目標に向かって着実に歩み続けてください。

今日から武蔵大学はみなさんの母校になります。在学中に培った学友との交流は皆さんにとって大きな財産であり、卒業後も大切に生かしてこれからの人生を歩んでいただきたいと思います。これからも発展を続ける武蔵大学を愛し、時には母校に足を運んでくださるようお願いいたします。武蔵大学で学んだ知識や技能、多様な経験を通じて得た知力、人間力を基礎に、皆さんが洋々たる前途を切り開いて行かれることを祈念し、お祝いの挨拶とさせていただきます。

本日は、ご卒業、誠におめでとうございます。

令和 6年 3月 22日

学校法人 根津育英会 武蔵学園
学園長 池田 康夫